

平成28年度（2016年度）

事業報告書

平成28年(2016年)4月1日から平成29年(2017年)3月31日まで

公益財団法人 損保ジャパン日本興亜美術財団

I 東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館の運営

1. 美術作品の収集、保存、公開

<1> 特別展

(1) フランスの風景 樹をめぐる物語 —コロローからモネ、ピサロ、マティスまで—

会期:4月16日(土)~6月26日(日)

共催:日本経済新聞社 協賛:損保ジャパン日本興亜

後援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本

協力:エールフランス航空/KLM オランダ航空、日本航空

企画協力:アートインプレッション

本展は、ロマン派やバルビゾン派にはじまり、印象派を経てフォーブまで、「樹木」が風景画の展開にどのような役割を果たしてきたのかを展覧した。フランスを中心とする国内外の美術館、ならびに個人所蔵作品から樹木に対する画家たちの想いが込められた作品113点を展示し、その変遷をたどった。

金曜日の開館時間を延長し、20時閉館とした。

【関連行事等】

内覧会 (4月15日)

熊本地震発生に伴い開会式を中止し、内覧会のみを開催した。

学芸員によるギャラリートーク (4月22日、23日)

ギャラリー★で★トーク・アート (6月13日)

休館日の展示室において、ガイドスタッフと対話をしながらの作品鑑賞会(予約制)を行った。参加者:44名

【主な掲載誌等】

NHKEテレ「日曜美術館」アートシーン(5月8日放映)で紹介された。

共催の日本経済新聞をはじめ、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞ほか、The Japan Times、雑誌、ケーブルテレビ、インターネットの情報サイト等で幅広く取り上げられた。

(2) 魔法の美術館 光と影のイリュージョン

会期:7月12日(火)~8月28日(日)

共催:産経新聞社 協賛:損保ジャパン日本興亜 企画協力:ステップ・イースト

「見て」「参加して」「楽しむ」体感型の展覧会であり、来館者の動きに合わせて、色とりどりの光や影のモチーフ、映像、音が変化する作品などにより、美しくも不思議な空間が生み出された。デジタル技術だけでなく、アナログ的な手法による作品を含む、アーティスト10組の感性あふれる作品17点を展示した。

【関連行事等】

ふぁみりー★で★とーく・あーと (8月1日午後、8月15日午前・午後)

休館日の展示室において、ガイドスタッフと対話をしながらの作品鑑賞会(予約制)を行った。参加者合計:200名(うち中学生以下96名)

【主な掲載誌等】

共催の産経新聞をはじめ、美術雑誌、インターネット等で幅広く取り上げられた。
NHKのニュース情報番組「首都圏ネットワーク」で(7月11日放映)紹介された。

(3) 没後110年 カリエール展

会期:9月10日(土)~11月20日(日)

共催:朝日新聞社 協賛:損保ジャパン日本興亜

後援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本

協力:日本航空 企画協力:IS ART INC.

セピア色の画面に神秘的に浮かび上がる人物や母子像で知られる、19世紀フランス象徴主義を代表する画家ウジェーヌ・カリエールの展覧会。カリエールの子孫でカリエールのカタログ・レゾネ(全作品集)の編集者である美術史家ヴェロニク・ノラ＝ミラン氏の全面的な協力のもと、個人所蔵作品及び油彩画を中心に80点を展示し、親密な光景を幻想的に描いたカリエールの真髄に迫った。

金曜日は開館時間を延長し、20時閉館とした。

【関連行事等】

開会式及び内覧会 (9月9日)

展望回廊において開会式を行い、当館館長とフランス大使館文化担当官、カリエールの子孫であるヴェロニク・ノラ＝ミラン氏が挨拶し、内覧会を開催した。

プレス向け内覧会 (9月9日)

プレス向け内覧会を開催し、学芸員が展示室において作品解説を行った。

学芸員によるギャラリー・トーク (9月16日、17日)

お客様感謝デー無料観覧日 観覧者数:1,748名 (10月1日)

ギャラリー★で★トーク・アート (10月31日)

休館日の展示室において、ガイドスタッフと対話をしながらの作品鑑賞会(予約制)を行った。参加者:31名(うち中学生1名)

【主な掲載誌等】

NHKEテレ「日曜美術館」アートシーン(10月2日放映)で紹介された。

共催の朝日新聞をはじめ、産経新聞、毎日新聞、美術雑誌他一般誌、インターネット、ラジオなどで幅広く取り上げられた。

<2> 企画展

(1) 風景との対話 コレクションが誘う場所

会期:11月26日(土)~12月25日(日)

協賛:損保ジャパン日本興亜

本展では、当館の収蔵品から「風景」を切り口にして51作家の作品81点を選び、テーマごとに8つの章「フランスのエスプリ」「東郷青児の旅」「日本の風土」「異国の魅力」「意識の底の地」「日常の向こう側」「世界の感触」「思い出のニューヨーク」に分けて紹介した。

【関連行事等】

- ブローガー鑑賞会 (12月1日)
閉館後、インターネットのウェブサイトの記事を投稿しているブローガーを対象にした鑑賞会を開催した。参加者:44名
- ギャラリー★で★トーク・アート (12月12日)
休館日の展示室において、ガイドスタッフと対話をしながらの作品鑑賞会(予約制)を行った。参加者:40名

【主な掲載誌等】

毎日新聞や地方紙、美術雑誌ほか一般誌、インターネット等で紹介された。

(2) クインテットⅢー五つ星の作家たちー

会期:1月14日(土)~2月19日(日)

共催:朝日新聞社 協賛:損保ジャパン日本興亜、SHISEIDO

本展は、国内外の美術館企画展などで継続的な作品発表の実績があり、将来有望な5人の作家たちを紹介する「クインテット(五重奏)」と題するシリーズ企画の第3弾。今回のテーマは「自然」で、川城夏未、木村佳代子、橋本トモコ、堀由樹子、横溝美由紀の近作・新作63点を展示した。

本展では、一般観覧者に作品の撮影を許可(フラッシュ不可)した。

【関連行事等】

- 開会式及び内覧会 (1月13日)
展望回廊において開会式を行い、当館館長及び学芸課長が挨拶し、出品作家5名を紹介した。
- アーティスト・トーク (1月14日、21日)
展示室において、出品作家が一般観覧者を対象に作品解説を行った。
- ギャラリー★で★トーク・アート (2月6日)
休館日の展示室において、ガイドスタッフと対話をしながらの作品鑑賞会(予約制)を行った。参加者:20名(うち小学生1名)

【主な掲載誌等】

共催の朝日新聞を始め毎日新聞、産経新聞、神奈川新聞等で紹介された。

(3) 「FACE展2017 損保ジャパン日本興亜美術賞展」

会期:2月25日(土)~3月30日(木)

共催:読売新聞社 協賛:損保ジャパン日本興亜

本展は、財団設立時からの作家支援活動の理念を継承した公募コンクール形式の第5回目であり、902点の応募作品から四次の「入選審査」と二次の「賞審査」を経て選考された71点の入選作品(うち受賞作品9点)を紹介している。

VOCA展2017(上野の森美術館 会期:3/11~3/30)と連携し、相互の観覧券による観覧料割引を実施した。

本展では、一般観覧者に作品の撮影を許可(フラッシュ不可)した。

【関連行事等】

内覧会及び表彰式

(2月24日)

内覧会を開催し、展示室において入選作家を対象にした審査員による審査講評を実施した。43階ロビーでは、受賞作家9名の表彰式を行い、その後のレセプションでは、入選作家と審査員、美術評論家等の交流の場を提供した。

【主な掲載誌等】

2月23日付読売新聞夕刊に展覧会の概要及び受賞作品を広告掲出した。

3月21日付新美術新聞に館長が寄稿し、FACE展を紹介した。

「美術の窓」2月号で紹介された。

<3> 併設展示

(1) 常設展示コーナー

ゴッホ《ひまわり》、セザンヌ《りんごとナプキン》は常時展示した。

ゴーギャン《アリスカンの並木路、アルル》は、他館への貸与期間(9月26日～1月5日)を除き、常時展示した。

【主な掲載誌等】

8月29日付日刊工業新聞にゴッホ《ひまわり》が紹介され、館長のコメントが掲載された。

10月1日付東京新聞の「ゴッホとゴーギャン展」(東京都美術館開催)作品解説記事において、当館のゴーギャン《アリスカンの並木路、アルル》が紹介された。

10月27日付保険毎日新聞に「開館40周年を迎えて」と題し、館長インタビューが掲載され、常設展示作品が紹介された。

12月29日テレビ朝日「池上彰のニュースそうだったのか!!」番組内で、当館のゴッホ《ひまわり》が紹介された。

1月に刊行された AERA ムック企業研究「損保ジャパン日本興亜」(朝日新聞出版)において、当館及びゴッホ《ひまわり》が紹介された。

(2) 収蔵作品展示コーナー

特別展及び企画展に併設し、東郷青児、グランマ・モーゼス作品を中心に当館収蔵作品を展示した。

「FACE展2017」では、昨年のグランプリ作品、遠藤美香《水仙》を展示した。

<4> 展覧会解説

(1) 図録・解説書の刊行

① 「樹をめぐる物語」図録、ジュニア版ブックレット

② 「カリエール展」図録、ジュニア版ブックレット

③ 「クインテットⅢ」図録

④ 「FACE展2017」図録

(2) ギャラリートーク、アーティストトーク

「カリエール展」では、学芸員が一般観覧者を対象にギャラリー・トークを実施した。「クインテットⅢ」では、出品作家5名がそれぞれの作品を前に一般観覧者を対象に作品解説を行った。

(3) 諸団体への対応

月 日	団体名・人数	内容
5/17	駒場学園高等学校 美術部13名	「樹をめぐる物語」展解説
5/25	地球旅クラブツアー(山梨県) 43名	「樹をめぐる物語」展解説
5/26	和歌山県立向陽中学校 修学旅行班別行動 13名	美術館概要説明と「樹をめぐる物語」展 解説
5/26	すさみ町立周参見中学校 (和歌山県) 修学旅行班別行動 6名	美術館概要説明と「樹をめぐる物語」展 解説
5/27	吉田絵画教室 13名	「樹をめぐる物語」展解説
6/1	桑名市綾成中学校生徒6名	美術館概要説明と「樹をめぐる物語」展 解説
9/15	NHK文化センター柏教室 「小さな美術館めぐり」10名	「カリエール展」解説

<5> 展覧会別観覧者数

会期	展覧会名	開館 日数	有料計	無料計	合計	1日 平均
4/16～6/26	樹をめぐる物語	62	25,823	21,703	47,526	767
7/12～8/28	魔法の美術館	43	28,112	21,859	49,971	1,162
9/10～11/20	カリエール展	64	11,029	24,020	35,049	548
11/26～12/25	風景との対話	26	3,782	3,378	7,160	275
1/14～2/19	クインテットⅢ	32	3,385	6,176	9,561	299
2/25～3/30	FACE展2017	30	3,939	4,915	8,854	295
合計		257	76,070	82,051	158,121	615
<参考>昨年度合計		259	74,213	90,971	165,184	638

<6> 館蔵品・資料・文献の充実

- (1) 美術品の購入 (2月24日)
 「FACE2017 損保ジャパン日本興亜美術賞」 グランプリ作品
 (作者)青木 恵美子 (題名)INFINITY Red
 (制作年)2016年 (材質)アクリル・キャンバス (寸法)130.3cm×162cm
- (2) 美術品等の受贈
 ⑤ 東郷たまみ油彩9点その他資料8点 (11月4日)
 ⑥ 東郷青児関連資料(フランセ クッキー缶) (5月19日)
 ⑦ 東郷青児資料2点 (5月14日、11月7日)
- (3) 館蔵作家2名の著作権譲受 (3月27日)

<7> 館蔵品の保全

- (1) ゴッホ《ひまわり》の定期メンテナンス (4月7日～4月12日)
 (2) 基本財産美術品3点の額の修理及び東郷青児素描作品7点の額装 (6月23日)
 (3) 基本財産美術品4点の修復 (8月5日)
 (4) 基本財産美術品1点及びその他美術品5点の修復 (11月2日)
 (5) 基本財産美術品(ル・ペック・ボルドー作品)5点の修復及び額装 (3月27日)

<8> 館蔵品の貸与

作品名	貸与先等
ルノワール 油彩2点 《帽子の娘》《浴女》	「光紡ぐ肌のルノワール」(3/19～6/5) 京都市美術館
ピカソ 油彩1点 《長いひげの裸体男性像》、 素描4点 《宝石》、《裸体男性 像》、《椅子に座る女性像》、 《ベートーヴェンのデスマスク》	「ピカソ、天才の秘密」(4/9～7/3) あべのハルカス美術館
モーゼス 油彩21点	「グランマ・モーゼスと花の絵画展」(8/2～10/2) カメイ美術館(仙台)
東郷青児 油彩1点 《日曜日の朝》	「近代美術の至宝－明治・大正・昭和の巨匠－」 (9/10～10/23) 石川県立美術館
岸田劉生 油彩1点 《虎ノ門風景》	「動き出す！絵画展」(9/17～11/6) 東京ステーションギャラリー
ゴッガン 油彩1点 《アリスカンの並木路、アルル》	「ゴッホとゴッガン展」(10/8～12/18) 東京都美術館
東郷青児 油彩1点 《窓》	「九州洋画山脈」(11/19～2017.1/22) 久留米市美術館
東郷青児 油彩1点 《コントラバスを弾く》	「日本におけるキュビズム ピカソ・インパクト」 (11/23～2017.1/29、2/12～3/26) 埼玉県近代美術館、高知県立美術館
ユトリロ 油彩1点 《モンマルトルのサクレ＝ク ール寺院》	「モーリス・ユトリロ展」(2017.1/2～2/20) 名古屋松坂屋美術館
ルノワール 油彩2点 《帽子の娘》《浴女》	「ルノワール展」(2017.1/14～4/16) 宮城県美術館
川島優 日本画1点 《Toxic》	「山田優アントニ×川島優」(2017.1/28～3/12) 浜松市秋野不矩美術館

<9> 調査・研究

(1) 図録・解説書の製作等

- ⑧ 「樹をめぐる物語」では、展覧会図録の日本側監修及び執筆・編集を行うとともに小中学生を対象にした展覧会解説書「ジュニア版ブックレット」を刊行した。
 ⑨ 「カリエール」では、展覧会全体を監修し、展覧会図録の執筆とフランス語論文の翻訳を行った。また、ジュニア版ブックレットを作成した。

- ⑩ 「クインテットⅢ」と「FACE展2017」では、展覧会図録を作成した。
- ⑪ 美術館REPORT2016を発行した。

(2) その他執筆・講演活動

- ① 河北新報社(9月1日付)に寄稿し、当館の収蔵作品による展覧会「モーゼスと花の絵画展」(カメイ美術館)を紹介した。
- ② 「新美術新聞」9月11日号に寄稿し、「カリエール」展を紹介した。
- ③ 「美術の窓」9月号に寄稿し、「カリエール」展を紹介した。
- ④ 月刊「サライ」のウェブサイト「サライ.jp」に寄稿し、「カリエール」展を紹介した。
- ⑤ 朝日新聞出版の美術入門書「招待シリーズ」最新刊である『ゴッホへの招待』で監修と執筆を担当した。
- ⑥ 渋谷・ユーロスペースにて、映画『フランコフォニア ルーブルの記憶』公開にあたり、ルーブル美術館にまつわるエピソードや西洋美術に関するトークショーに出演した。(11月5日)
- ⑦ 「新美術新聞」12月21日号の年末回顧特集において、「団体展とFACE展から見えてくる現代作家のこの1年」をテーマに寄稿した。
- ⑧ 「美術の窓」2月号に寄稿し、次年度に開催する「ランス美術館展」「生誕120年 東郷青児展」を紹介した。

2. 展覧施設の運営管理

<1> 施設・設備等の整備、防災訓練等の実施

- (1) 美術館フロアの清掃(カーペット洗浄、ワックスがけ)及び虫害防除作業を実施した。(4月1日、3日)
- (2) ひまわり展示収蔵庫の調湿剤を交換(5年ごと)し、内側のガラス清掃を実施した。(4月7日、8日)
- (3) 伊勢志摩サミット開催に伴うテロ対策として、本社ビル関連部署との協議を重ね、巡回警備員の増員、監視カメラの増設、ごみ箱の一時撤去等を実施した。(4~5月)
- (4) ゴッホ《ひまわり》展示用受け台を交換した。(4月12日)
- (5) 本社ビル1階美術館ロビーにロッカー3台(30人分)を増設した。(4月18日)
- (6) ミュージアムショップの陳列用什器を修理した。(7月6日)
- (7) 受付及びミュージアムショップにクレジットカード決済対応レジスターを導入した。(9月8日)
- (8) 美術館ウェブサイトの「ご利用案内」を多言語化(英語、中国語(簡体中文・繁体中文)、韓国語)した。本件は、(公財)東京観光財団による「観光施設の国際化支援補助金」(費用の約半額相当)の交付を受けた。(9月30日)
- (9) 41階事務所のレイアウト変更を実施し、資料・情報管理を徹底するとともにグッズや広報印刷物の倉庫スペースを増設した。(1月6日~9日)
- (10) 収蔵庫内に作品固定のための耐震金具を設置した。(12月27日)
- (11) 経年劣化のため、第一展示室の壁面を塗装した。(12月29日)
- (12) 美術館観覧者に公衆無線LANを通じた情報サービスを提供するため、42階美術館フロアにWi-Fi設備を設置した。本件につき、(公財)東京観光財団による「観光施設の国際化支援補助金」(費用の半額相当額)の支給が決定した。(2月14日)
- (13) 美術館専用エレベーター内の案内放送に英語を追加した。(3月7日)

<2> 頒布品の製作・販売

(1) 以下の頒布品を新たにミュージアムショップで販売した。

特別展	展覧会関連の頒布品や書籍
クインテットⅢ	出品作家の小作品、絵はがき、カレンダー、カタログ
通年販売(新規)	ゴッホ輸入グッズ(ブックマーカールーラー、マグネティックブックマーク、ショッピングバッグ)、MOMA STORE アンブレラ(傘)2種
期間限定販売(4月～6月)	ひまわりの種(2種)
期間限定販売(9月～12月)	2017年版カレンダー2種 「グランマ・モーゼス」「東郷青児」

(2) 他館での販売

「樹をめぐる物語」展 札幌芸術の森美術館	「樹をめぐる物語」ジュニア版ブックレット
「グランマ・モーゼスと花の絵画展」カメイ美術館	グランマ・モーゼス絵はがき、「グランマ・モーゼス」ジュニア版ブックレット、コレクション100選

3. 美術鑑賞教育の普及支援

<1> 対話による美術鑑賞

(1) 新宿区小中学生の美術鑑賞教育支援事業

「新宿区における美術振興を図るための協働連携に関する覚書」に基づき、今年度も(公財)新宿未来創造財団と「新宿区立小学校及び新宿区立中学校の美術鑑賞教育に関する協定書」を締結し、ガイドスタッフの協力を得て、事前授業及び休館日の鑑賞会を実施した。

【平成28年度 事業実施結果】

事前授業	小学校22校 990名、中学校5校 383名 合計27校 1,373名	ガイドスタッフ 延べ306名
鑑賞会	小学校29校 1,334名、中学校8校 669名 合計37校 2,003名、先生 161名	ガイドスタッフ 延べ579名
ガイドスタッフ在籍数 68名 活動延べ人数 885名		

(2) ギャラリー★で★トークアート

展覧会ごとに休館日1日もしくは2日を「ギャラリー★で★トークアート」の日(予約制、高校生以上有料)とし、ガイドスタッフや他の参加者と対話しながら作品鑑賞を楽しんでもらった。「魔法の美術館」展では、夏休み企画として「ふぁみりー★で★とーく・あーと」と銘打ち、家族やグループでの参加を呼びかけたところ、定員を超える応募があったため、鑑賞日を1日追加して実施した。

樹を巡る物語	6/13(月) 14時～16時	参加者:44名 ガイドスタッフ:27名
--------	--------------------	------------------------

魔法の美術館	8/1(月) 14時～16時	参加者:62名 (うち中学生以下30名) ガイドスタッフ:31名
	8/15(月) 9時半～11時半	参加者:61名 (うち中学生以下28名) ガイドスタッフ:25名
	8/15(月) 14時～16時	参加者:77名 (うち中学生以下38名) ガイドスタッフ:27名
カリエール展	10/31(月) 14時～16時	参加者:31名 (うち中学生以下1名) ガイドスタッフ:24名
風景との対話	12/12(月) 14時～16時	参加者:40名 ガイドスタッフ:23名
クインテットⅢ	2/6(月) 14時～16時	参加者:20名 (うち小学生1名) ガイドスタッフ:23名
FACE展2017	3/27(月) 14時～16時	参加者:31名 (うち小学生4名) ガイドスタッフ:21名

4. 助成関係事項

<1> 優秀な美術家の表彰

(1) 「FACE 2017 損保ジャパン日本興亜美術賞」の選考 (11月19日)

業務委託先(ヤマトロジスティクス(株))の倉庫において審査会を実施し、902点の応募作品の中から、四次審査により入選作品71点を選出し、入選作品の中から二次にわたる審査を行い、グランプリ等の受賞作品9点を決定した。

選考結果については、11月25日に応募者全員に郵送するとともに当館及び業務委託先のホームページで公表した。

審査員は、本江邦夫氏(多摩美術大学教授)、堀元彰氏(東京オペラシティアートギャラリー チーフ・キュレーター)、坂元暁美氏(上野の森美術館学芸員)、野口玲一氏(三菱一号館美術館学芸グループ長)、当館館長の5名である。

入選・受賞作品は、「FACE展2017 損保ジャパン日本興亜美術賞展」で展示した。

賞名	副賞金	作家名	作品
グランプリ	300万円 (作品買上を含む)	青木 恵美子	《INFINITY Red》 アクリル・キャンバス
優秀賞	各 50万円	大石 奈穂	《うその融点》 油彩・綿布・パネル
		石橋 暢之	《ジオラマの様な風景》 ボールペン画
		杉田 悠介	《山》 アクリル・パネル
読売新聞社賞	10万円	宮岡 俊夫	《Landscape》 油彩・キャンバス
審査員特別賞 本江邦夫審査員	各 10万円	片野 莉乃	《swimmer》 岩絵具・胡粉・箔・雲肌麻紙
審査員特別賞 堀元彰審査員		新 直子	《drift》 アクリル・キャンバス

審査員特別賞 坂元暁美審査員	各 10万円	傍島 幹司	《夏の夜》 油彩・キャンバス
審査員特別賞 野口玲一審査員		浜口 麻里菜	《私のいない物語》 油彩・キャンバス
オーディエンス賞	各3万 (他賞受賞 者を除く) (注)	石橋 暢之	《ジオラマの様な風景》 ボールペン画
		新 直子	《drift》 アクリル・キャンバス
		青木 恵美子	《INFINITY Red》 アクリル・キャンバス

(注)今回はオーディエンス賞受賞者全員が他賞を受賞していたため、副賞金はなし。

- (2)「FACE 2017 損保ジャパン日本興亜美術賞」表彰式 (2月24日)
43階ロビーにおいて表彰式を開催し、当財団理事長、読売新聞東京本社事業局美術館連絡協議会事務局長、審査員長が受賞者に表彰盾を授与した。当館館長が主催者挨拶を、審査員長が選考経過を報告し、グランプリを受賞した青木恵美子氏が受賞者を代表して謝辞を述べた。

<2> 新進美術家の育成援助

新進美術家の支援・育成を目的とする「損保ジャパン日本興亜美術財団賞」を38団体の公募美術展平面部門での受賞者に授与した。

番号	展覧会名	授与 年月日	受賞者	受賞作品名
1	第75周年記念 創元展	H28.3.30	横森 秀彦	遠い記憶
2	第69回 示現会展	H28.3.30	中西 敦	騎士達の尊厳
3	第75回記念 水彩連盟展	H28.3.31	片山 文	ふることぶみ 2016
4	第66回 モダンアート展	H28.4.1	森木 麻新	エニグマティック
5	第64回 光陽展	H28.4.9	森 泉	一隅
6	第102回 光風会展	H28.4.13	本山 二郎	光の風向
7	第93回 春陽展	H28.4.16	川野 美華	賢い乙女と愚かな乙女
8	第82回 東光展	H28.4.25	川田 久世	転車台
9	90回記念 国展	H28.4.27	麻田 征弥	ひととき
10	第61回 新世紀展	H28.5.2	武田 恵江	ソラニスワレシ 15ノココロ
11	第112回 太平洋展	H28.5.11	曾我 雅行	ポスター2016
12	第76回 美術文化展	H28.5.12	糸井 崇史	サイ
13	第68回 三軌展	H28.5.14	小林 俊彦	GREEN MIRROR
14	第52回 国際公募 亜細亜現代美術展	H28.5.22	上原 とし子	象達の来た道 I
15	第30回 日洋展	H28.5.25	草薙 智	ハイドロデッカー No.2
16	第82回 旺玄展	H28.5.25	中村 多美子	花に希いを
17	第72回 現展	H28.5.28	石井 清	スキマ(乱)
18	第87回 第一美術展	H28.5.28	高山 はま子	ナポレオンと仲間たち
19	第59回 新象展	H28.6.1	翁長 洋子	THE AIR

番号	展覧会名	授与年月日	受賞者	受賞作品名
20	第104回 日本水彩展	H28.6.3	吉川 靖	高台
21	第69回 創造展	H28.6.17	佐藤 のり子	里山
22	第70回記念 女流画家協会展	H28.6.29	當間 菜奈子	罪を編む
23	第95回記念 朱葉会展	H28.7.1	長田 和代	パプリカのシンフォニー
24	第53回 近代美術協会展	H28.8.21	藤井 哲子	いっしょ!
25	第101回 二科展	H28.8.31	熊田 奈穂子	流動
26	第52回 主体展	H28.9.1	藺田 雅俊	Old friends
27	第80回記念 新制作展	H28.9.14	丸山 宏	肖像—9
28	第71回 行動展	H28.9.14	堀永 尚子	時空間 2016IV
29	第88回 新構造展	H28.9.22	森 靖男	岩に刻まれた海の女達
30	第78回 一水会展	H28.9.22	田中 久実子	休日
31	第62回 一陽展	H28.9.28	島田 広之	Another Planet
32	第59回 新協美術展	H28.10.5	久保 宏司	不安・生きる
33	第84回 独立展	H28.10.12	河合 規仁	龍神様ノ云フ通り
			井阪 文紀	my phimosis
34	第70回記念 二紀展	H28.10.15	小牟禮 雄一	Night Diver
35	第68回 中美展	H28.10.16	鈴木 賢一	歌舞伎奇想図
36	第67回 一線美術会展	H28.10.22	神谷 真由美	そのとき あった
37	第47回 元陽展	H28.11.3	府川 律子	UTAKATA 2016
38	第93回 白日会展	H29.3.22	ナカジマ カツ	森の女

5. 公共等への協力

<1> 文化行政への協力

- (1) 東京都心の東京革命推進協議会主催「都民ふれあいの日」に協力し、年間を通して18歳未満の子供を連れた都民に対する優待割引を実施した。
- (2) 埼玉県のスポート振興事業に協力し、「樹をめぐる物語」展より「埼玉県文化・スポーツJOINTカード」によるスタンプラリーや観覧料割引を実施した。
- (3) 新宿消防署が主催する絵画展の審査員を当館学芸員が務めた。(5月25日)
- (4) 新宿区が主催する「来て・見て・楽しい フィールドミュージアム2016」(会期:10/1~11/30)に協力し、イベント冊子の提示による「カリエール」展の観覧料割引とスタンプラリーを実施した。

<2> その他

- (1) 学芸員資格取得のための博物館実習を次のとおり実施した。(8月16日~24日)
実習期間: 参加大学生:12校12名
実践女子大学、武蔵野美術大学、学習院大学、成城大学、東京大学、日本女子大学、法政大学、昭和女子大学、多摩美術大学、中央大学、東京女子大学、武蔵大学
- (2) 10月1日はお客様感謝デーとして「カリエール」展を観覧料無料で公開した。(観覧者数1,748名)また、新宿区主催「大新宿区まつり(10/1~10/31)」協賛イベントとして紹介された。

(3) 中学生のキャリア形成授業への協力

① 東京大学教育学部附属中等教育学校生徒4名の職業インタビューに対応した。
(8月25日)

② 職場体験に協力し、目黒区立第七中学校の2年生1名を受入れた。
(11月29日～12月1日)

③ 職場体験に協力し、新宿区立西戸山中学校の2年生4名の美術館見学に対応した。
(3月7日)

(4) 第15回新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソン(主催:新宿区他、大会事務局:
(公財)新宿未来創造財団)に協賛した。(1月29日)

II 処務の概要

1. 役員等に関する事項

平成28年度末現在

職名	氏名	就任日	摘要	最初の就任日
理事長 代表理事 (非常勤)	二宮 雅也	H28.6.29	損害保険ジャパン日本興亜(株) 代表取締役会長	H28.1.21 (理事長就任) H27.12.17 (理事就任)
専務理事 業務執行理事 (常勤)	中島 隆太	H28.6.29	東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館館長	H27.6.26
理事 (非常勤)	寺坂 公雄	H28.6.29	画家、日本芸術院会員、 (公社)日展顧問、(一社)光風会理事長	S62.3.25
理事 (非常勤)	千足 伸行	H28.6.29	広島県立美術館館長、成城大学名誉教授	H10.6.24
理事 (非常勤)	樺山 紘一	H28.6.29	印刷博物館館長、東京大学名誉教授	H20.6.24
理事 (非常勤)	佐野 めい	H28.6.29	画家、女子美術大学名誉教授	H24.6.29
理事 (非常勤)	今野 秀洋	H28.6.29	三菱商事(株)取締役	H28.6.29
監事 (非常勤)	新里 智弘	H28.6.29	公認会計士、税理士	H19.6.19
監事 (非常勤)	内田 満雄	H28.6.29	公認会計士	H28.6.29
評議員 (非常勤)	真室 佳武	H26.6.26	東京都美術館館長	H17.6.14
評議員 (非常勤)	國分 正明	H26.6.26	前(一社)教職員生涯福祉財団会長	H18.6.24
評議員 (非常勤)	高階 秀爾	H26.6.26	大原美術館館長、 (公財)西洋美術振興財団理事長	H18.6.24
評議員 (非常勤)	遠山 敦子	H26.6.26	(公財)トヨタ財団理事長	H18.6.24

職名	氏名	就任日	摘要	最初の就任日
評議員 (非常勤)	宝木 範義	H26.6.26	美術評論家	H20.6.24
評議員 (非常勤)	森田 富治郎	H26.6.26	第一生命保険(株)特別顧問	H20.6.24
評議員 (非常勤)	小佐野 重利	H26.6.26	東京大学大学院人文社会系研究科教授	H21.3.31
評議員 (非常勤)	馬越 陽子	H26.6.26	画家、独立美術協会会員、女流画家協会委員、多摩美術大学大学院客員教授	H24.6.29
評議員 (非常勤)	橋本 豊	H26.6.26	DIC川村記念美術館常勤顧問	H26.6.26
評議員 (非常勤)	松広 清	H26.6.26	損害保険ジャパン日本興亜(株) 理事総務部長	H26.6.26
評議員 (非常勤)	田村 康弘	H27.6.26	損害保険ジャパン日本興亜(株) 顧問	H27.6.26
評議員 (非常勤)	青木 潔	H27.6.26	損害保険ジャパン日本興亜(株) 執行役員広報部長	H27.6.26
評議員 (非常勤)	加藤 種男	H28.6.29	(公社)日展副理事長 前(公社)企業メセナ協議会専務理事	H28.6.29
評議員 (非常勤)	越川 倫明	H28.6.29	東京藝術大学教授	H28.6.29
評議員 (非常勤)	氏家 佳世子	H28.6.29	損害保険ジャパン日本興亜(株) CSR室長	H28.6.29
顧問 (非常勤)	原口 秀夫	H28.6.26	前(公財)損保ジャパン日本興亜美術財団 専務理事	H27.6.26

2. 職員に関する事項

平成28年度末現在

区分	氏名	就業年月日	担任業務	備考
事務局長	林 圭一	H28.4.1	事務局事務統括	損害保険ジャパン日本興亜(株)より出向
特命課長 (エキシビション・マネージャー)	市川 アダム 博康	H27.2.1	展覧会関係業務	損害保険ジャパン日本興亜(株)より兼務出向 (非常勤)
学芸課長	五十嵐 卓	H11.4.1	資料の収集・保管・展示、 調査研究、その他専門的業務	
主任学芸員	小林 晶子	H9.9.1	〃	
主任学芸員	中島 啓子	H9.10.1	〃	
主任学芸員	江川 均	H10.4.1	〃	
事務職員	出口 知子	H11.10.1	財団総務・美術館運営事務他	
事務職員	本條 志穂	H15.10.1	美術館運営事務、広報事務他	
事務職員	池田 美紀	H24.4.1	美術館運営事務、広報事務他	

区分	氏名	就業年月日	担任業務	備考
事務職員	杉本 典子	H24.4.1	美術館広報事務他	
事務職員	吉井 有紀	H25.4.1	鑑賞教育事務、広報事務他	

3. 役員会等に関する事項

<1> 理事会

開会年月日	議事事項等	会議の結果
平成28年6月8日	■決議事項 定時評議員会の招集 平成27年度事業報告及び決算報告の承認 平成29年度展覧会の承認 理事の利益相反取引の承認 ■報告事項 活動状況報告(平成28年3月22日～5月末) 理事長・専務理事の職務執行状況 (平成28年3月22日～5月末) 理事の利益相反取引の報告 (平成27年12月～平成28年3月)	原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決
平成28年6月29日	■決議事項 理事長の選定 専務理事の選定 定例役員報酬の承認	二宮雅也理事を選定 中島隆太理事を選定 原案どおり可決
平成29年3月21日	■決議事項 平成29年度事業計画及び収支予算書等の承認 特命部長の選任 理事の利益相反取引の承認 平成30年度展覧会の開催 著作権の取得 特定費用準備資金の積立及び取扱規則の制定 ■報告事項 活動状況報告(平成28年6月～2月末) 理事長・専務理事の職務執行状況の報告 (平成28年6月～2月末)	原案どおり可決 鴛海晋氏を選任 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決

<2> 評議員会

開会年月日	議事事項等	会議の結果
平成28年6月29日	■決議事項 平成27年度決算報告の承認 任期満了に伴う理事及び監事の選任 評議員の選任 ■報告事項 平成27年度事業報告 マイナンバー制度開始に伴う対応 平成28年度事業計画及び収支予算等	原案どおり可決 原案どおり選任 原案どおり選任

4. 許可、認可、届出、承認及びその他の重要事項

申請等年月日	申請等事項
平成28年4月15日	内閣府へ評議員の退任を届出
平成28年6月8日	東京都及び文部科学省へ「青少年を対象とした取組等に関する実績報告(平成27年度)」を提出
平成28年6月30日	内閣府へ平成27年度事業報告等を提出
平成28年7月21日	内閣府へ評議員及び役員の変更を届出
平成29年3月22日	内閣府へ平成29年度事業計画書等を提出

5. 寄付金等に関する事項

寄付の目的	寄付者	領収金額
公益目的事業に充当	損害保険ジャパン日本興亜(株)	49,700,000 円
法人の管理運営に充当	損害保険ジャパン日本興亜(株)	21,300,000 円
公益目的事業に充当	法人 37件	6,490,911 円
公益目的事業に充当	個人 44件	2,038,000 円

6. 行政庁指示に関する事項

該当なし

7. その他

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書は、特記事項がないため作成していない。

以上